

佐渡市のSDGsの話



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





SDGsとは、簡単に言うと、
『より良い世界にし続けるために
全世界の人が取り組む目標』です

佐渡市では、SDGsのこの考え方を取り入れて、
より良いまちになるための取組を行っています

2022年度「SDGs未来都市」選定

佐渡がより良いまちになるための
取組が認められました

SDGs未来都市選定証

新潟県佐渡市

貴市の提案は、我が国におけるSDGs
(持続可能な開発目標)の達成に貢献する優
れたものと認められますので、SDGsの達
成に向けた今後の取組を奨励し、ここに貴市
がSDGs未来都市であることを証します

令和4年5月20日

内閣総理大臣

岸田文雄



自然人が豊かにトキと暮らす黄金の里山・里海文化、佐渡
～ローカルSDGs佐渡島、自立・分散型社会のモデル地域を目指して～



5月20日選定

佐渡SDGsパートナー

2022年9月15日 募集開始

2023年2月11日 発足式開催




佐渡SDGs
パートナー

持続可能なまちの実現に向けて、
佐渡市とともにSDGsの取り組みを実施していただける企業、
NPO、団体の方々を募集します！

パートナーとして登録されるとこんなメリットが

- ・市のホームページで、SDGsの取り組みをPRでき、企業イメージや信頼性の向上、社員の意識向上、人材確保に効果が期待できます！
- ・パートナー同士の情報交換・連携をサポート！
- ・「佐渡市SDGsパートナー」認定証を交付します！

応募条件	市内でSDGsの推進に寄与する取り組みを行っていただくこと
申請方法	下記のホームページから申請書をダウンロードした後、必要事項を記入し、企画財政部総合政策課 (kikaku@city.sado.niigata.jp) まで提出ください。
ホームページ	https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/41476.html
佐渡 SDGs パートナー	検索

QRコードはこちら

申請方法などご不明点がございましたら、お気軽に下記問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ 企画財政部総合政策課 ☎ 0259-63-3802



2024年3月末時点、100事業者が参加



佐渡がより良いまちになるために

佐渡市が目指す4つの社会

脱炭素社会

地球温暖化の原因となる
二酸化炭素の排出量を減らす社会

歴史文化継承社会

佐渡ならではの歴史・文化に
誇りと愛着を持って次の世代へ伝えていく社会

生物多様性社会

すべての生物や植物が、かかわりあい
つながりあいながら生きている社会

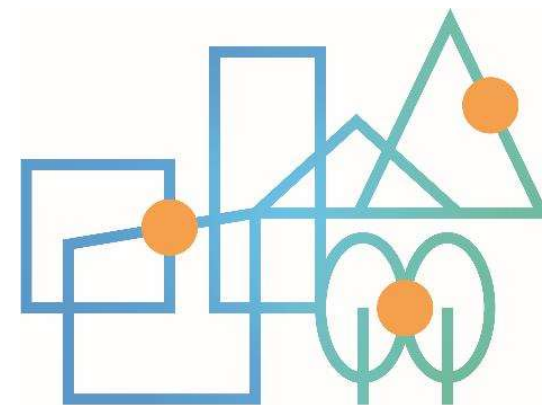
人材創出社会

島内外の様々な人々が持つ知恵や技術で
地域を元気にしていく社会



脱炭素社会に向けた取組

地球温暖化の原因となる
二酸化炭素の排出量を減らす社会



脱炭素先行地域



のちほど
くわしく説明します



生物多様性社会に向けた取組

すべての生物や植物が、かかわりあい
つながりあいながら生きている社会

Nature Positive Sado Island Declaration

Biodiversity conservation is now being taken up as an international issue to follow carbon neutrality, and the world has expressed commitment to a nature positive global goal of “halting the declining trend of biodiversity and moving toward recovery by 2030”.

Sado City has been taking action on biodiversity conservation, including conservation of the crested ibis, which became extinct in the wild in 1981. A programme of reintroduction was established and since 2008, 569 crested ibis have been successfully reintroduced to the wild. With the aim of becoming nature positive, Sado City will conduct the following activities to promote investment in nature and a circular economy, as well as to promote a zero-carbon island:

1. Further expand the protected areas and sites contributing to biodiversity conservation outside of protected areas (OECM: Other effective area-based conservation measures) in Sado City. Such areas already exceed 30%.
2. Gain an understanding of what resources cause biodiversity loss in other regions, and strive to reduce the introduction and use of those resources, as well as make progress on conserving the natural environment and biodiversity, leading to the creation of new industries.
3. As a region that has achieved a symbiotic relationship with the crested ibis, expand partnerships for biodiversity conservation while sharing knowledge and experience toward nature positivity with other regions.

We hereby declare commitment to the goal of “Nature Positive” and pledge to put it into practice with the aim of creating a Regional Circulating and Ecological Sphere and creating an island where people can continue to live in peace and security.

23 October, 2022

Mayor, Sado City

朱鷺と暮らす郷づくり認証制度

2007年（平成19年）発足



水田や水路に江（深み）を設置



ビオトープの設置

「生きものを
育む農法」
を農業技術へ

生態系
の再生



ふゆみずたんぼ（冬期湛水）



魚道の設置



産官民が一体となった取組

日本初 世界農業遺産(GIAHS)に認定



佐渡地域のトキとの共生を目指した「生きものを育む農法」や棚田などの風景、伝統的な農文化などが評価され、2011年(平成23年)、佐渡市は日本で初めて世界農業遺産に認定された。

認定された農業遺産システム名
「トキと共生する佐渡の里山」



農業の価値を未来につなぐ(オーガニック・食育の推進)

保育園・学校給食への有機食材を
試験的に導入開始※

※ 小中学校は、1か月限定、無農薬無化学肥料栽培米を提供
島内保育園は、継続した提供を開始



歴史文化継承社会に向けた取組

佐渡ならではの歴史・文化に
誇りと愛着を持って次の世代へ伝えていく社会



佐渡を世界遺産に

佐渡の主な金銀山分布の歴史

戦国時代末～

相川金銀山

(金・銀・銅)

戦国時代～

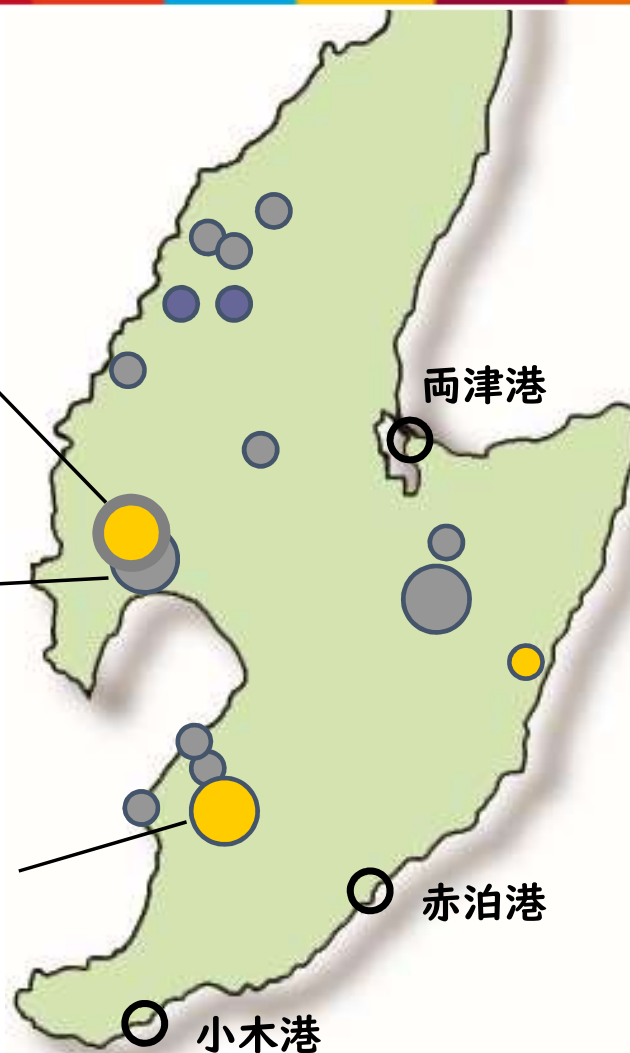
鶴子銀山

(銀・銅)

平安時代末～

西三川砂金山

(砂金)



佐渡金銀山



- 金銀山
- 砂金山
- 銀山
- 鉛山



歴史・文化を未来につなぐ(町並み保存・活用)

江戸の町並み



北前船の町並み



歴史・文化を未来につなぐ(観光活用)

《伝統芸能・寺社仏閣》



薪能



清水寺



鬼太鼓

相川京町通りでのイベント

夜の御前踊り
佐渡世界文化遺産登録祈念

令和4年
7/9 16 30
8/11 12 13
14 20

◆時間／ 20時30分～21時30分
◆会場／京町通り～佐渡奉行所

料金について
佐渡奉行所内に入場される場合のみ、協力金として500円をいただきます。
※雨天時 佐渡奉行所のみの実施となります。

お問合せ先 官乃舞実行委員会事務局 0259(74)3515
〒952-1558 新潟県佐渡市相川二丁目14

ご来場の際は、手指の消毒・マスクの着用にご協力ください



主催 官乃舞実行委員会 共催 アース・セラベーション実行委員会・佐渡市・佐渡市教育委員会
協力 佐渡文化財団・佐渡世界文化遺産登録推進委員会・島内民間団体



人材創出社会に向けた取組

島内外の様々な人々が持つ知恵や技術で
地域を元気にしていく社会



大学・企業との連携(知の誘致)



食育の推進



木育の推進



大学連携による人・知、技術の交流拡大

明治安田生命
保険相互会社

第一生命保険
株式会社



包括連携協定

佐渡市



包括連携協定

包括連携協定

心と体の
健康づくり

スポーツ振興

損害保険ジャパン
株式会社

がん対策

感染症対策

介護予防

地域の見守り



健康寿命日本一を目指した地域づくり

人材創出社会に向けて —人材不足の補完—

➤ 自動運転（EVバス）の実証運行を実施(2024年1月12日～21日)



相川きらりうむ佐渡～岩谷口間
(約36kmの国内最長ルート)

地域住民や観光利用、貨客混載なども想定



佐渡市のエネルギーの話



そもそもエネルギーとは？

生活に必要な電気やガス、ガソリン、灯油などのことです。今日は、**電気**について、くわしくお話しします。

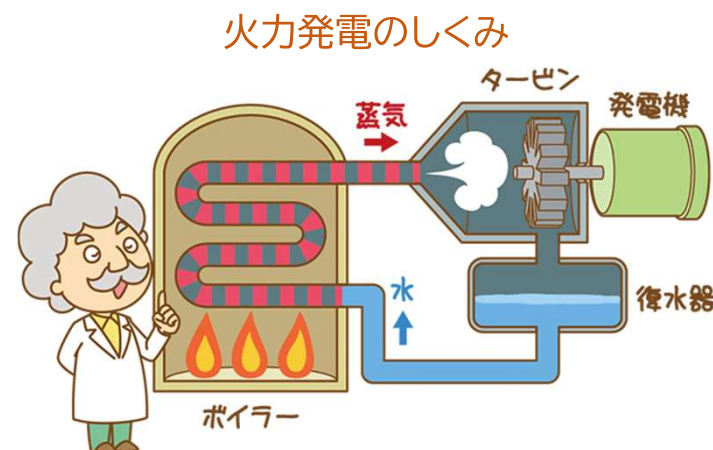


なぜエネルギーについて考えることが大切か

ここでクイズ！

佐渡島内で使われている電気のうち、
火力発電はどれくらいの割合を占め
ているでしょうか。

- A. 50%くらい
- B. 70%くらい
- C. 90%くらい

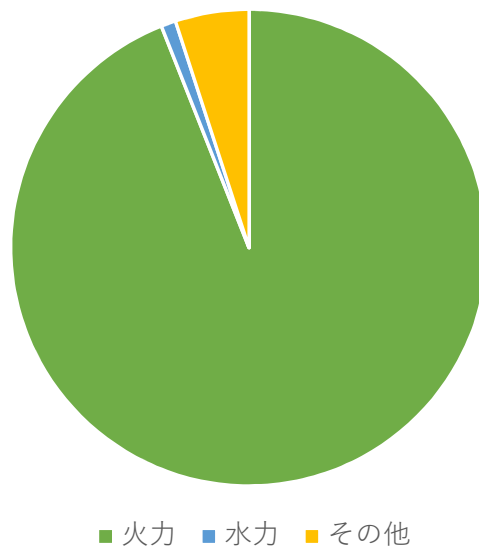


出典：おとなも学べる！教えて！かんでん

なぜエネルギーについて考えることが大切か

答え:C. 90%くらい
佐渡島内で使われている電気は、
9割以上が火力発電によるものです。
(令和2年時点)

火力発電は化石燃料(天然ガス、石炭、石油など)を燃やして発電するため、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素が排出されます



なぜエネルギーについて考えることが大切か

なぜエネルギーについて考えることが大切
なのでしょうか？

大きく分けて、3つの理由があります。

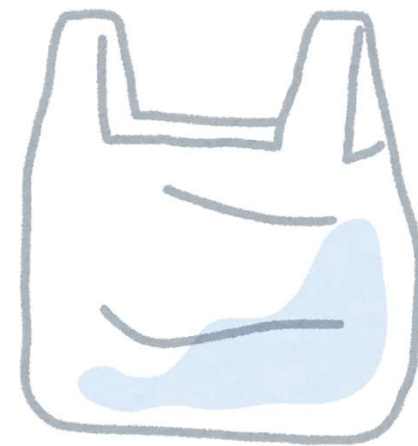
- ① 地球温暖化対策のため
- ② 経済を豊かにするため
- ③ 防災のため

①地球温暖化対策のため

地球温暖化は世界中の問題で、
私たちも取り組まなければなりません。

佐渡市はトキの野生復帰に
長年取り組んできたこともあり、
環境対策に積極的に取り組んでいます。

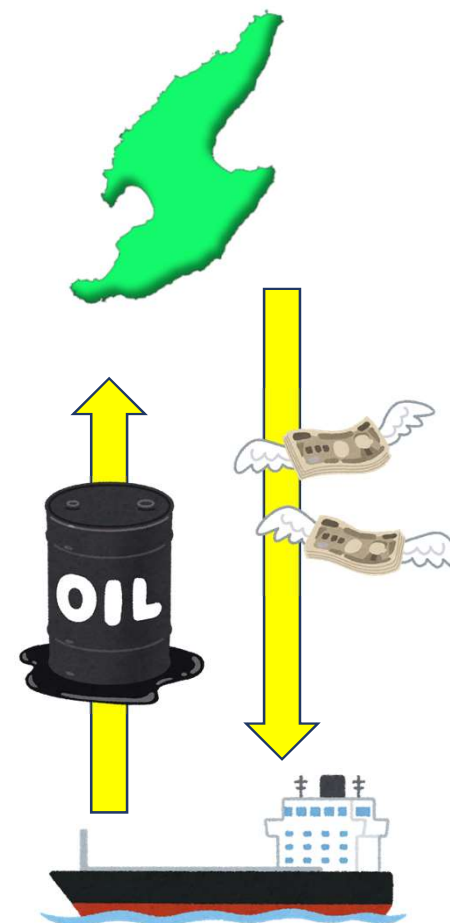
レジ袋有料化、エコバッグ普及も
全国に先駆けて実施しました。



②経済を豊かにするため

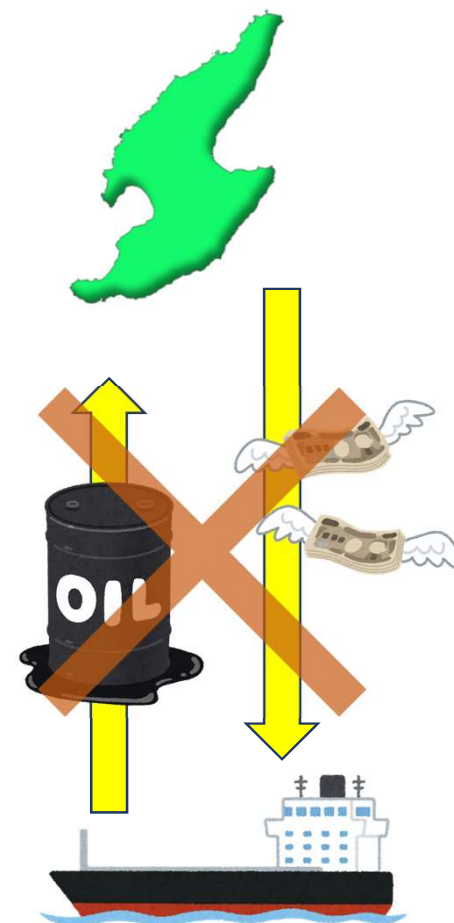
佐渡で使われている電気の9割以上は、島内の火力発電所で作られています。電気を作るための燃料は、島外から船で運んできて、燃料の代金を島外に払っています。

島外から運んできた燃料を使わずに発電できる仕組みができれば、その分、島外に払うお金を減らせ、島の経済を豊かにすることができます。



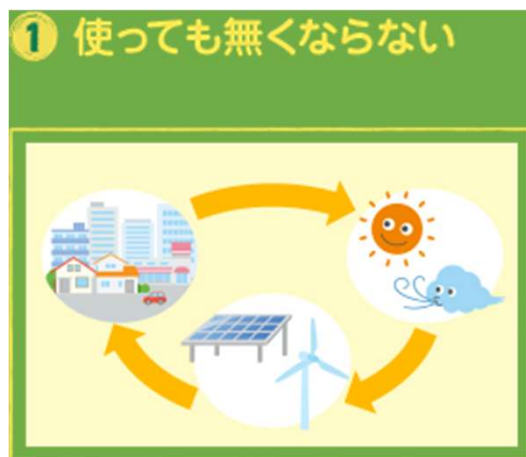
③防災のため

佐渡の電気は島外から運んできた燃料で発電する火力発電に頼っています。災害で燃料が運べなくなると電気が使えなくなるかもしれません。電気を少しでも佐渡の中で作れるようにしたり、火力発電だけに頼らないようにすることは、災害の時に電気が使えなくなる危険を減らすことにつながります。



再生可能エネルギーとは

そこで登場するのが、再生可能エネルギーです。
エネルギーの問題を解決する方法として、自然の力
を利用して電気をつくるエネルギー「再生可能エネ
ルギー」が注目されています。



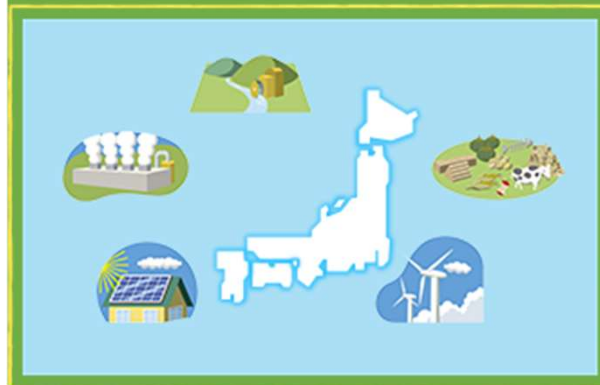
再生可能エネルギーが増えると良いことは

再生可能エネルギーが増えるとどんな良いことがあるでしょう。

① 発電による温室効果（おんしつこうか）ガスを出す量が少なく、地球環境（かんきょう）を守ることができる



② 国内の自然資源（しげん）を使うので、化石燃料（ねんりょう）の輸入（ゆにゅう）が少なくなり日本のエネルギー自給率（じきゅうりつ）がアップする



③ 地域（ちいき）に合った再エネの発電施設（しせつ）を作ったり、再エネの新技术（ぎじゅつ）を開発したりすることで、新しい産業を作る事ができる。



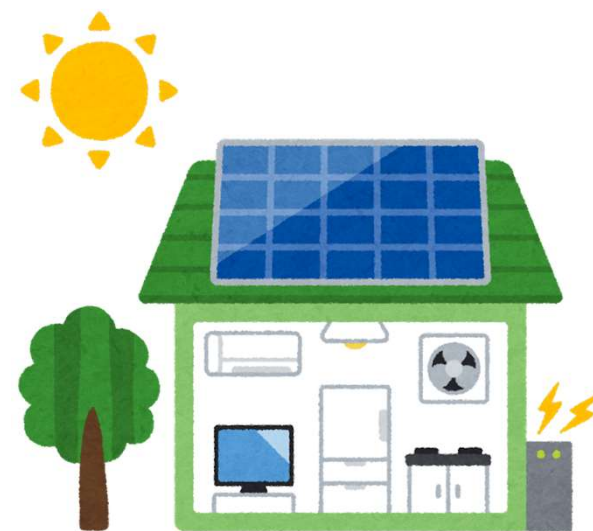
主な再生可能エネルギー

太陽光発電

パネルを設置し、太陽光によって発電します。

良い点は、空き地、屋根、車庫など、設置できる場所が多く、設置も比較的簡単できることです。

悪い点は、発電量が天候に左右されることです。地域によっては雪や強風対策も必要になることです。



主な再生可能エネルギー

風力発電

風車を設置し、風によって発電します。
陸地だけでなく、海の上に風車を設置
する「洋上風力発電」もあります。

良い点は、昼夜いつでも発電できるこ
とです。

悪い点は、風車に鳥がぶつかる事故や
風車の騒音などの対策が必要になるこ
とです。



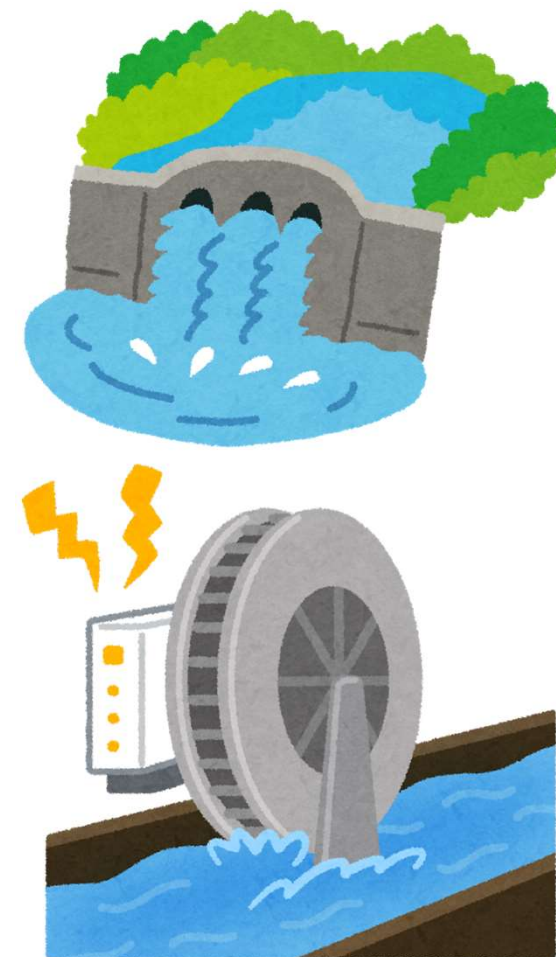
主な再生可能エネルギー

水力発電

川やダムなど、水の流れる場所
に設備を設置して発電します。

良い点は、まわりへの影響が
少ないことです。

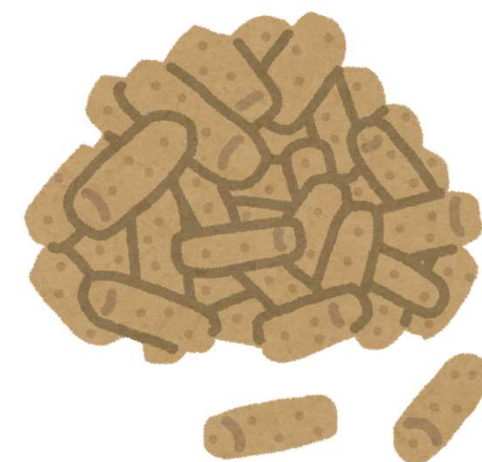
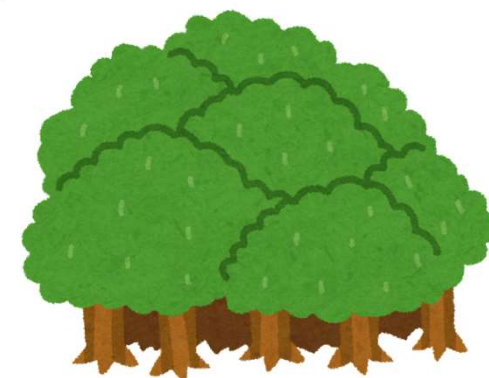
悪い点は、雨が少ないと発電
量が減ることや、設置する場所
が川やダムがあるところに限ら
れることです。



主な再生可能エネルギー

バイオマス発電

米のもみ殻や木の枝など自然由来の資源を燃料にして火をおこし発電します。良い点は、火をおこした時の熱を温水プールに活用することなどができます。悪い点は、米のもみ殻や木の枝など、自然由来の資源を安定して手に入れる方法を考えておく必要があります。



木質ペレット

主な再生可能エネルギー

ここでクイズ！

長崎県五島市にある洋上風力発電所「はえんかぜ」は、全長172m、出力2メガワットの海の上にある風車です。この風車がもし佐渡にあったら、どれくらいの電気をまかなえるでしょう。

- A. 全世帯の1/10くらい
- B. 全世帯の半分くらい
- C. 全世帯分まかなえる



主な再生可能エネルギー

答え:A. 全世帯の1/10くらい

はえんかぜ1基あたり、約2,000世帯の電気をまかなえるといわれています。佐渡市は約2万世帯なので、全世帯の1/10となります。

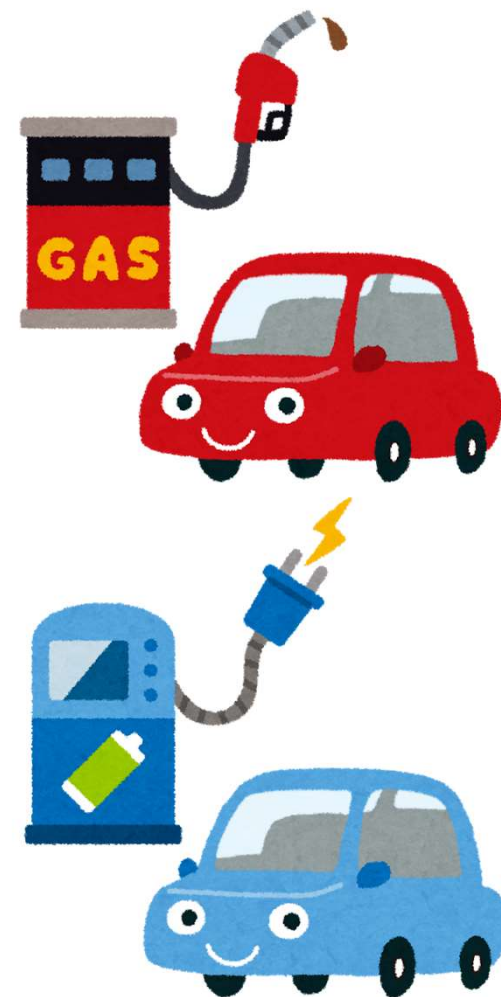


ガソリン自動車と電気自動車

もうひとつクイズ！

ガソリン自動車と電気自動車、1年間運転した場合、ガソリン代と電気代、どちらがお得でしょうか。

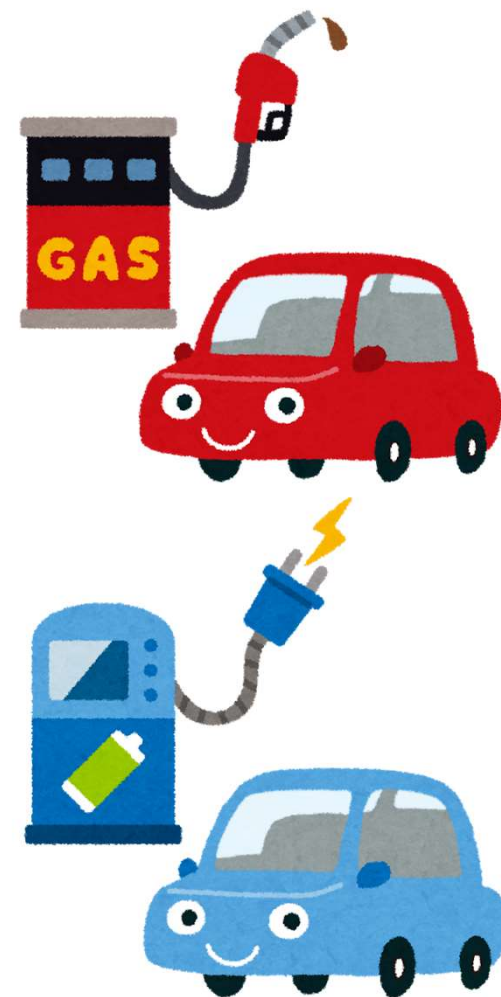
- A. ガソリン自動車の方がお得
- B. 電気自動車の方がお得
- C. 同じくらい



ガソリン自動車と電気自動車

答え:B. 電気自動車の方がお得

電気自動車を1年間運転するのに必要な電気代は38,450円。対してガソリン代は86,000円との試算があります。ガソリン代は電気代の2倍以上かかる計算になります。でも、電気自動車は値段が高いため、トータルで見ると、どちらがお得とは一概には言えません。



再生可能エネルギーの利点

発電時にCO₂を出さないので、地球温暖化の対策になります。

島にもともとある「資源」を使うので、島外にお金を払う必要がなくなり、島の中で経済(お金)が回ります。

一つの電源(佐渡だと火力発電)だけに頼らないことで、災害時に電気が使えなくなる危険を減らすことができます。



再生可能エネルギーの課題

発展途中の技術で、導入には大きなお金がかかります。

自然や景観を破壊してまで進めては、元も子もないので、地域と相談しながら進める必要があります。

太陽光発電や風力発電は天候の影響を受ける電源なので、他の発電方法とバランスをとる必要があります。



出典：株式会社ソーラーパートナーズWEBサイト



佐渡市の取り組み

市の施設への太陽光パネル導入や、電気自動車の導入を進めています。



市民、有識者、島内外関係者と相談しながら、佐渡に適した再生可能エネルギーの導入方法を検討しています。



新庁舎整備における再エネ導入の推進

新庁舎屋上に太陽光発電設備



2023年10月31日交付
佐渡市本庁舎が「ZEB Ready」を取得

平常時

市役所の消費電力を、将来的に太陽光で発電した電気で
100% 賄うことを目標としています。



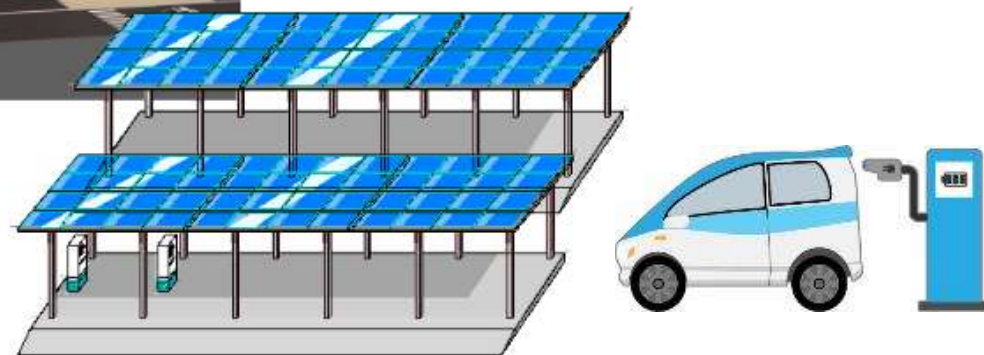
ZEB庁舎へ

災害時

庁舎電力に活用
・照明 (LED)
・充電用コンセント

+

電気自動車を利用し、
必要な場所へ電気を供給
(広い地域をカバー)

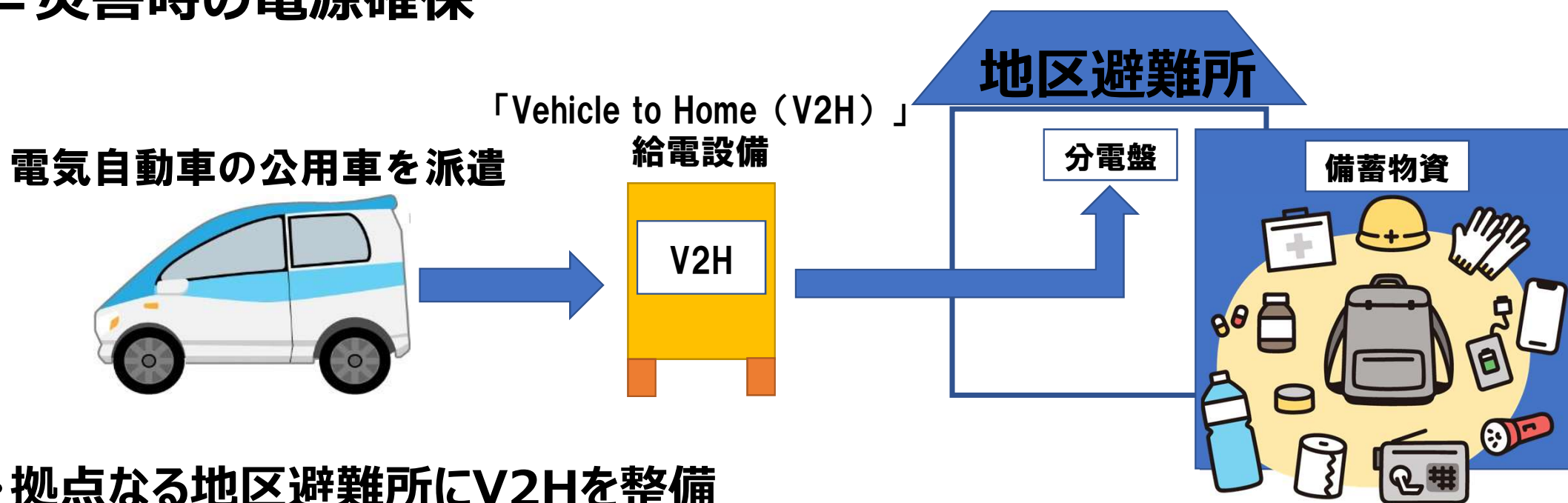


公用車のEV化と充電設備の整備

「脱炭素と災害に強い庁舎」を同時実現

集落の孤立対策として —避難所の電源と備蓄確保—

避難所+「V2H」+電気自動車の連携 =災害時の電源確保



- ・拠点となる地区避難所にV2Hを整備
- ・災害による停電時に電気自動車を派遣し、地区避難所の電力供給を行う
- ・水や食料など一定の備蓄物資を確保する